

決 算 説 明 会 資 料

第 4 2 期 第 2 四 半 期

(平成 30 年 3 月 1 日～平成 30 年 8 月 31 日)

コ ー ナ ン 商 事 株 式 会 社

(証券コード 7516)

【問い合わせ先】 IR広報室

【 T E L 】 072-274-1622 (ダイヤル)

【 F A X 】 072-274-1731

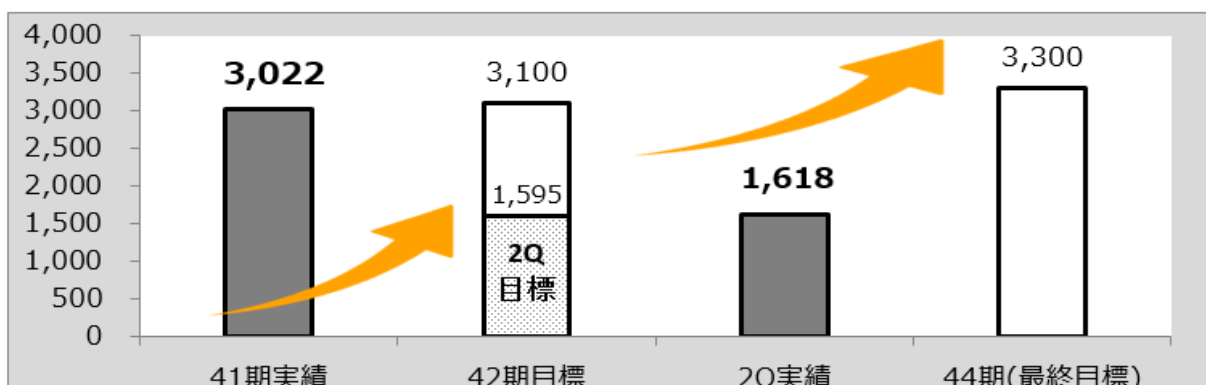
【 U R L 】 <https://www.hc-kohnan.com/>

【 E - m a i l 】 IR@hc-kohnan.co.jp

1. 第2次中期経営計画（2018-2020）～もっと大好きや！！コーナン～ 進捗状況

（連結）（単位：億円、端数切捨）

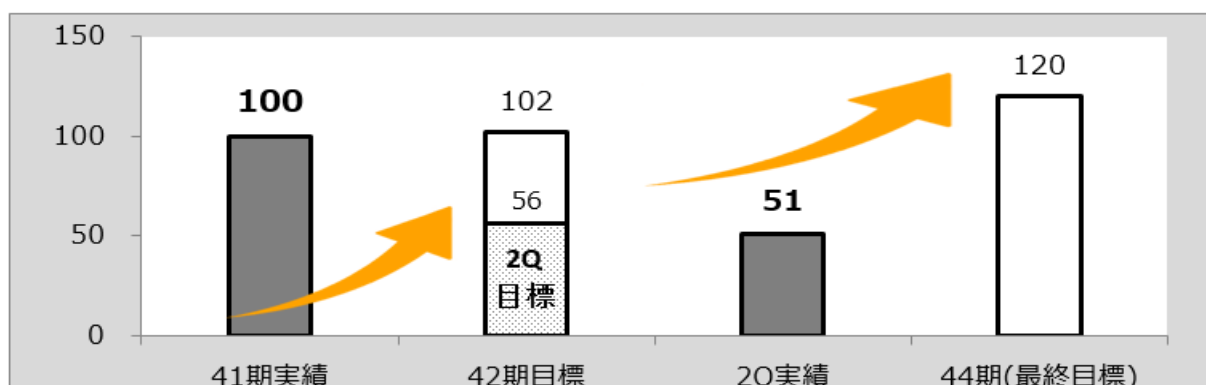
（1）売上高中期目標 3,300 億円（連結）



（2）経常利益中期目標 200 億円（連結）



（3）当期純利益中期目標 120 億円（連結）



（4）ROE（自己資本利益率）中期目標 10.0%（連結）



2. 売上高

(1) 売上高等

(単位：百万円、端数切捨)

区 分	当第2Q連結 (H30年3月～ H30年8月)	計画 (H30年3月～ H30年5月)	計画比 増減額	計画比	当第2Q単体 (H30年3月～ H30年8月)	前年同期 (H29年3月～ H29年8月)	前年同期比 増減額	前年同期比
売上高	161,858	159,500	2,358	101.5%	158,763	152,580	6,183	104.1%
(既存店 売上高)	—	—	—	—	(154,396)	—	—	(101.9%)
営業収入	6,911	6,850	61	100.9%	6,894	6,918	△24	99.6%
営業収益 (売上高と 営業収入)	168,770	166,350	2,420	101.5%	165,657	159,499	6,158	103.9%
売上総利益	60,546	59,710	836	101.4%	59,455	56,571	2,883	105.1%
売上総利益率	37.4%	37.4%	—	0.0Pt	37.4%	37.1%	—	0.3pt
営業利益	10,787	10,830	△42	99.6%	10,678	10,360	317	103.1%
営業利益率	6.7%	6.8%	—	△0.1pt	6.7%	6.8%	—	△0.1pt
営業外収支	△1,029	△700	△329	147.1%	△1,023	△586	△437	174.6%
経常利益	9,758	10,130	△371	96.3%	9,654	9,774	△119	98.8%
経常利益率	6.0%	6.4%	—	△0.4pt	6.1%	6.4%	—	△0.3pt
特別損益	△2,047	△1,810	△237	113.1%	△2,047	△732	△1,315	279.6%
純利益	5,145	5,620	△474	91.5%	5,042	6,035	△992	83.6%

【主な増減要因】

営業収益 (1,687億70百万円)

当第2四半期では、1Qから継続してDIY用品等が好調に推移したことに加え、6月の大阪北部地震をはじめ一連の天災により防災用品の需要が長く続いたこと、また7月後半からは猛暑が続き夏物商材の売上が好調だったこと等により、単体売上高は前年同期比4.1%増加しました。単体既存店売上高も1.9%の増収となりました。計画比においては、連結売上高は1.5%計画を上回りました。単体営業収益(売上高と営業収入)は、前年同期比3.9%増加となり、単体営業収入は前年同期比0.4%減少しました。連結営業収益は計画を1.5%上回り、連結営業収入は計画を0.9%上回りました。

売上総利益 (605億46百万円)

売上総利益は、単体では前年同期比5.1%増加しました。これは、売上高が4.1%増加したほか、売上総利益率が0.3ポイント上昇したことによります。また連結売上総利益は計画を1.4%上回りました。これは、連結売上高は計画比1.5%増であり、売上総利益率がほぼ計画通りだったことによります。

営業利益 (107億87百万円)

営業利益は、単体では前年同期比3.1%増加しました。これは売上総利益が5.1%増加したものの、販管費が4.8%増加したことによります。一方で連結営業利益においては、連結販管費が計画より1.7%増加したことで、計画を0.4%下回りました。

経常利益 (97億58百万円)

経常利益は、単体では前年同期比1.2%減少しました。これは、営業利益が3.1%増加したものの、営業外収支が437百万円悪化したこと等によります。また、連結経常利益においても、連結営業利益が0.4%計画を下回ったことと連結営業外収支が329百万円計画より悪化したことにより、計画を3.7%下回りました。

純利益 (51億45百万円)

純利益は、単体では前年同期比16.4%減少しました。これは経常利益が1.2%減少し、減損損失を2,372百万円計上したこと等によります。また連結純利益においても、連結経常利益が3.7%計画を下回ったことにより、計画を8.5%下回りました。

(2) 商品部門別売上高等

(単位：百万円、端数切捨)

商 品 部	連結		コーナン単体				
	売上高	売上高 構成比	売上高	売上高 前年同期比	売上高構成比 (前年同期)	粗利益率 (前年同期)	商品回転率 (前年同期)
ホームインフラメント (DIY用品)	66,092	40.8%	63,717	105.6%	40.2% (39.5%)	39.1% (39.0%)	2.6回 (2.6回)
ハウスキーピング (家庭用品)	62,123	38.4%	61,481	101.6%	38.7% (39.7%)	35.9% (35.3%)	3.5回 (3.6回)
ペット・レジャー (ペット・レジャー用品)	30,133	18.6%	29,875	103.0%	18.8% (19.0%)	37.1% (36.3%)	4.2回 (4.2回)
そ の 他	3,508	2.2%	3,688	136.0%	2.3% (1.8%)		
合 計	161,858	100.0%	158,763	104.1%	100.0% (100.0%)	37.4% (37.1%)	3.2回 (3.2回)

(注) 1. 商品部門別の各構成内容は、次のとおりであります。

*ホームインフラメント (木材・建材、工具、金物・水道、塗料・作業用品、園芸用品、園芸植物、資材、エクステリア、住設機器、リフォーム)

*ハウスキーピング (ダイニング用品、インテリア、電材・照明、日用品、収納用品、薬品、履物・衣料、家庭雑貨品、家電、介護用品、フード、酒類)

*ペット・レジャー (カー用品、ペット用品、文具・事務用品、サイクル・レジャー用品)

*その他 (100円ショップ、書籍、自動販売機、灯油)

2. 商品回転率は、売上原価を期中平均在庫高で除して算出しております。

(3) PB商品部門別売上高等

(単位：百万円、端数切捨)

商 品 部 門	当第2Q (H30年3月～H30年8月)		
	売上高	売上高 前年同期比	部門売上高構成比 (前年同期)
ホームインフラメント (DIY用品)	18,846	120.4%	31.9% (28.1%)
ハウスキーピング (家庭用品)	19,963	112.0%	34.2% (31.0%)
ペット・レジャー (ペット・レジャー用品)	9,927	119.3%	37.7% (32.4%)
合 計 (単 体)	48,737	116.6%	33.9% (30.1%)
合 計 (連 結)	49,106	117.4%	33.4% (29.7%)

(注) 1. 当期平均為替レート (USD) 110.34円 (前年同期 112.45円)

2. リフォーム、フード、酒類等を除いて、部門売上高構成比を算出しております。

(4) 営業部別売上高等

(単位：百万円、端数切捨)

営業部		当第2Q (H30年3月~H30年8月)		
		売上高	売上高 前年同期比	粗利益率 (前年同期)
ホームセンター	(連結)	137,101	103.1%	38.1% (37.5%)
	(単体)	135,170	102.5%	38.1% (37.6%)
PRO	(連結)	23,602	115.7%	33.6% (33.6%)
	(単体)	22,283	112.6%	33.8% (33.8%)

(5) 客数・客単価

区分	連結	コーナン単体		
	当第2Q実績 (H30年3月~H30年8月)	当第2Q実績 (H30年3月~H30年8月)	前年同期 (H29年3月~H29年8月)	前年同期比
客数 (内、既存店客数)	72,601千人 (70,130千人)	71,267千人 (69,496千人)	69,543千人	102.5% (100.6%)
客単価 (内、既存店客単価)	2,229円 (2,224円)	2,228円 (2,222円)	2,194円	101.5% (101.3%)

(6) 販売費及び一般管理費

(単位：百万円、端数切捨)

費目	当第2Q連結 (H30年3月~ H30年8月)	計画 (H30年3月~ H30年8月)	計画比 増減額	計画比	当第2Q単体 (H30年3月~ H30年8月)	前年同期 (H29年3月~ H29年8月)	前年同期比 増減額	前年同期比
人件費	17,612	17,360	252	101.5%	17,143	16,222	921	105.7%
賃借料	19,365	19,460	△94	99.5%	19,112	19,119	△7	100.0%
減価償却費	5,035	4,790	245	105.1%	5,016	4,654	362	107.8%
その他 販管費	14,655	14,120	535	103.8%	14,398	13,133	1,264	109.6%
販売費及び 一般管理費 合計	56,670	55,730	940	101.7%	55,671	53,130	2,540	104.8%

3. 貸借対照表

(単位：百万円、端数切捨)

科目	当第2Q連結 (H30年8月末)	前期末連結 (H30年2月末)	前期末比 増減額	科目	当第2Q連結 (H30年8月末)	前期末連結 (H30年2月末)	前期末比 増減額
流動資産合計	94,967	80,925	14,042	流動負債合計	78,854	70,779	8,075
現金及び預金	15,994	6,563	9,431	買掛金	29,274	23,844	5,430
売掛金	5,418	4,380	1,038	短期借入金	1,000	2,500	△1,500
商品及び製品	64,599	62,510	2,088	1年内返済予定の 長期借入金	30,122	27,624	2,498
その他 流動資産	8,955	(62,527)	(2,072)	その他 流動負債	18,457	16,810	1,646
固定資産合計	229,302	218,352	10,949	固定負債合計	135,818	123,122	12,696
有形固定資産	174,482	163,391	11,090	長期借入金	79,298	65,262	14,035
無形固定資産	6,595	6,552	42	商品自主回収 関連損失引当金	1,393	1,469	△75
投資その他 の資産	48,224	48,408	△184	その他 固定負債	55,127	56,390	△1,263
資産合計	324,270	299,278	24,992	純資産合計	109,596	105,375	4,220
				負債純資産計	324,270	299,278	24,992

(注) 商品及び製品の()は前年同期末及び前年同期末比増減額

有利子負債合計	1,480億円	1,341億円	138億円
借入金合計	1,104億円	953億円	150億円

【主な増減要因】

流動資産(140億42百万円増加)

流動資産の増加は、商品及び製品が20億88百万円(今期新店の店舗在庫は17億12百万円)、売掛金が10億38百万円、現金及び預金が94億31百万円増加したこと等によります。

固定資産(109億49百万円増加)

固定資産の増加は、主に土地が94億97百万円増加したこと等によります。

流動負債(80億75百万円増加)

流動負債の増加は、主に買掛金が54億円増加したこと等によります。

固定負債(126億96百万円増加)

固定負債の増加は、主に長期借入金が140億35百万円増加したこと等によります。

純資産(42億20百万円増加)

純資産の増加は、主に利益剰余金が42億83百万円増加したこと等によります。また、自己資本比率は33.8%となり、前期末比で1.4ポイント減となりました。

4. 出店状況

当期の投資総額（リース資産を含む）は、208億72百万円（計上ベース）であります。

(1) 当第2Q(平成30年3月～8月)オープン店舗の状況

番号	事業所名	所在地	設備の内容	売場面積	開店年月日
1	三鷹店	東京都三鷹市	店舗新設	7,021 m ²	H30年3月2日
2	御殿山店	大阪府枚方市	店舗新設	2,540 m ²	H30年4月25日
3	パブリックプラザ 丸亀店	香川県丸亀市	店舗新設	3,396 m ²	H30年6月27日
4	岐阜店	岐阜県岐阜市	店舗新設	5,856 m ²	H30年7月18日
5	PRO 城東東中浜店	大阪市城東区	店舗新設	1,462 m ²	H30年3月14日
6	PRO 高槻下田部店	大阪府高槻市	店舗新設	1,472 m ²	H30年4月14日
7	PRO 和歌山国体道 路店	和歌山県 和歌山市	店舗新設	2,244 m ²	H30年4月18日
8	PRO 加古川宝殿店	兵庫県 加古川市	店舗新設	2,805 m ²	H30年4月28日
9	PRO WORK & TOOL 茅ヶ崎店	神奈川県 茅ヶ崎市	店舗新設	1,124 m ²	H30年5月16日
10	PRO 浜寺元町店	堺市西区	店舗新設	1,044 m ²	H30年5月19日
11	PRO 南小松島店	徳島県 小松島市	店舗新設	1,888 m ²	H30年8月8日
12	PRO 広島観音店	広島市西区	店舗新設	2,686 m ²	H30年8月28日

(2) 当第3Q以降(平成30年9月～31年2月)オープン予定店舗

事業所名	所在地	設備の内容	予定売場面積	開店年月
勸修寺北店	京都市山科区	店舗新設	2,985 m ²	H30年9月
堺高須店	堺市堺区	店舗新設	7,362 m ²	H30年10月
ホームセンター	福岡県他	5店舗	17,731 m ²	H30年度下期
PRO 岡山豊成店	岡山県岡山市	店舗新設	1,841 m ²	H30年10月
PRO	大阪府他	2店舗	2,332 m ²	H30年度下期

(3) 店舗数等

区 分	当第2Q末 総店舗数 (H30年8月末)	当第2Q 出店・閉店数 (H30年3月～H30年8月)	当第2Q末 売場面積 (H30年8月末)	平成31年2月期末 総店舗数(予想) (H31年2月末)	平成31年2月期 出店・閉店数(予想) (H30年3月～H31年2月)
ホームセンター	274 (6)	+4△2 (0)	1,245,083 m ² (12,426 m ²)	281 (6)	+11△2 (0)
PRO	72 (4)	+8 (0)	163,534 m ² (8,509 m ²)	75 (4)	+11 (0)
合計	346 (10)	+12△2 (0)	1,408,617 m ² (20,935 m ²)	356 (10)	+22△2 (0)

(注) カッコ内は、ビーバートザンの店舗数です。

(注) 当期の閉店は、「ホームストック宇和店」、「谷上駅前店」の2店舗です。

5. 平成31年2月期（第42期）業績予想（平成30年3月1日～平成31年2月28日）（連結）

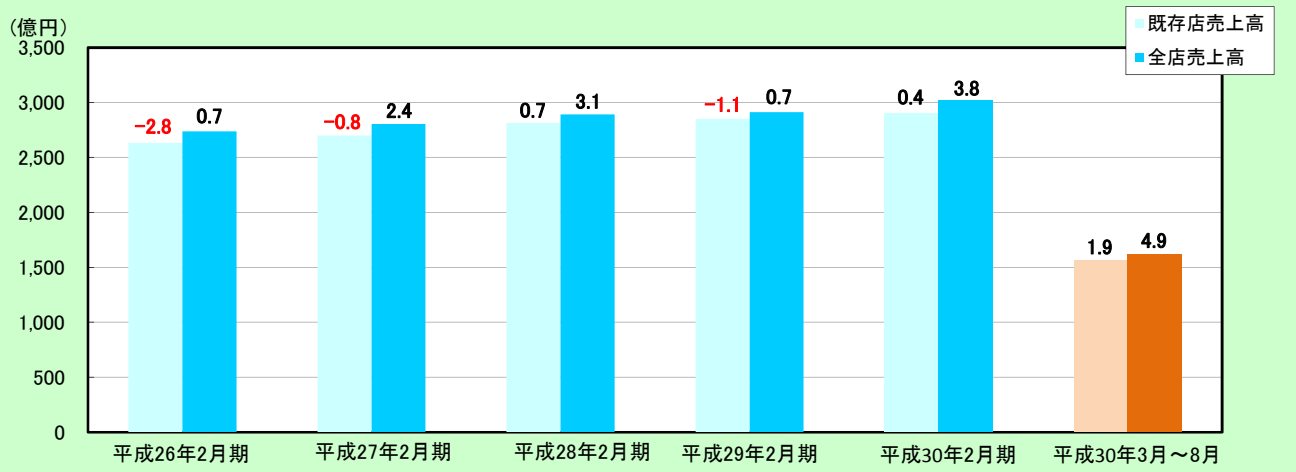
（単位：百万円、端数切捨）

項目	H31年2月期 通期	前年同期比
営業収益 （売上高と営業収入）	323,700	102.4%
売上高	310,000	102.6%
（内、既存店売上高）		（100.1%）
売上総利益	116,030	104.1%
売上総利益率	37.4%	0.5pt
営業収入	13,700	98.7%
販売費及び一般管理費合計	111,230	103.0%
販管费率	35.9%	0.2pt
営業利益	18,500	106.5%
営業利益率	6.0%	0.2pt
経常利益	17,000	105.1%
経常利益率	5.5%	0.1pt
純利益	10,200	101.7%

（注）第42期想定為替レートは（USD）110.00円です。

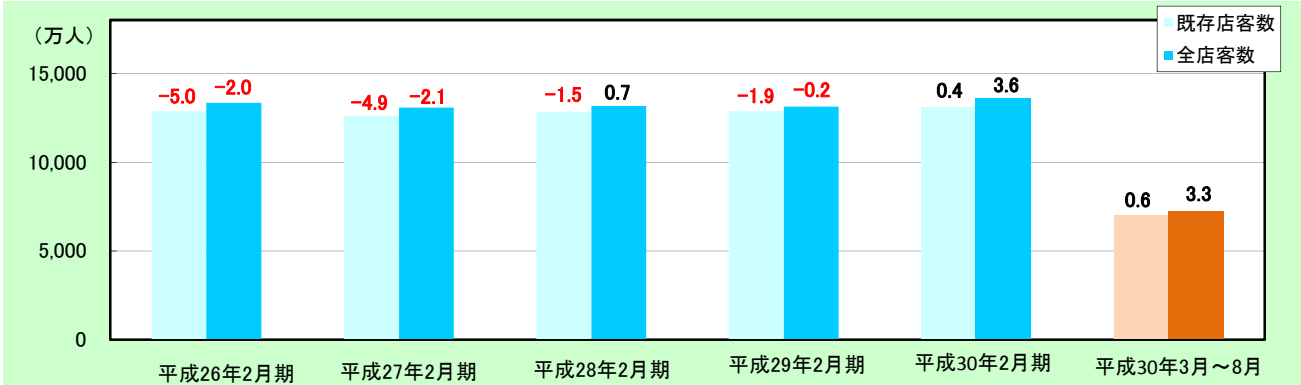
期別 売上高 推移

* 数値は対前年比伸率・%



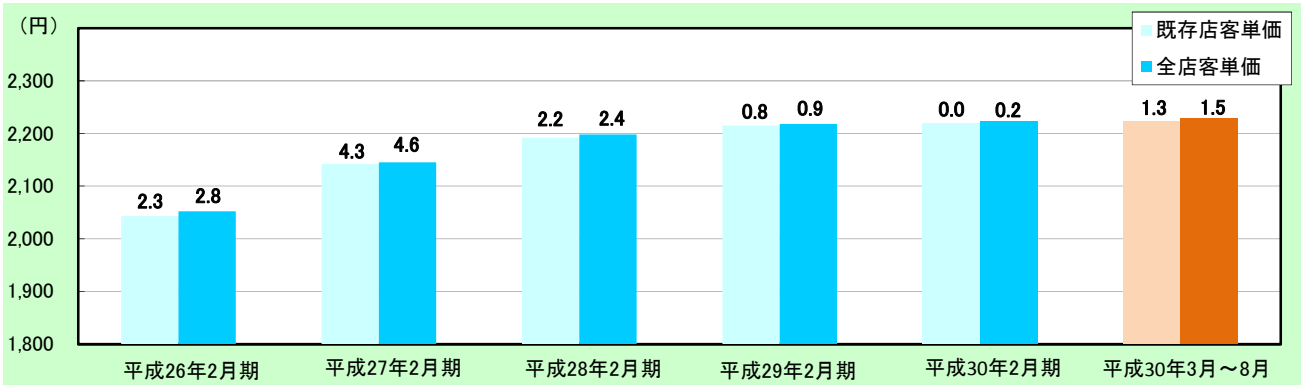
期別 客数伸率 推移

* 数値は対前年比伸率・%

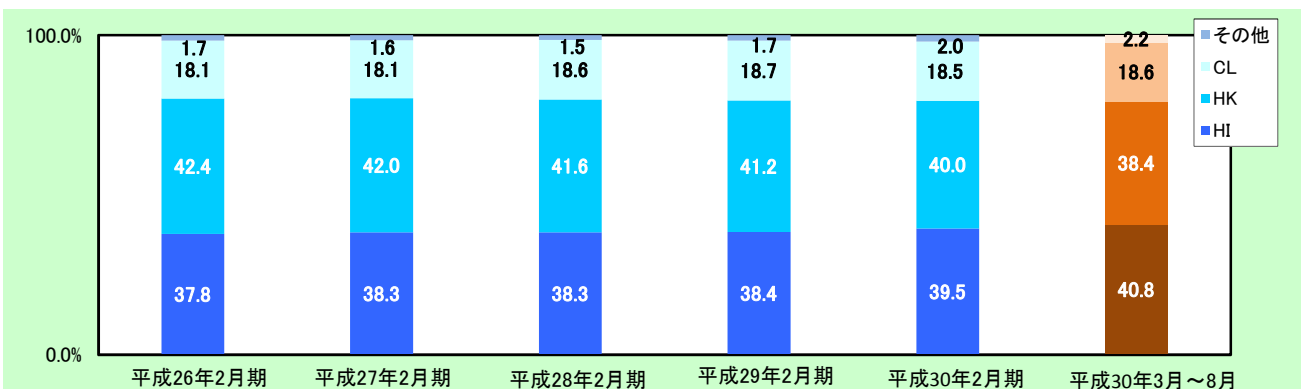


期別 客単価伸率 推移

* 数値は対前年比伸率・%

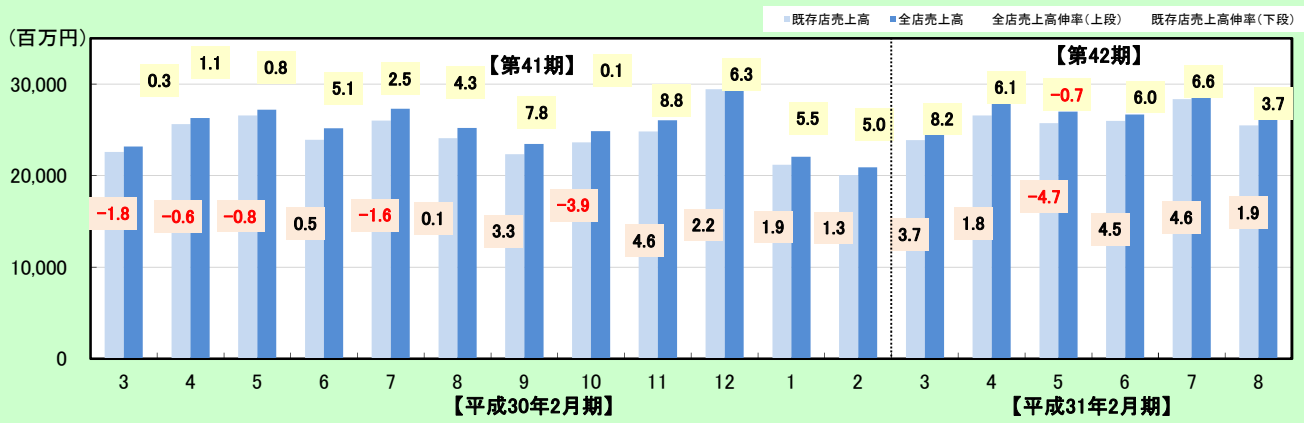


期別 部門別売上高比率 推移



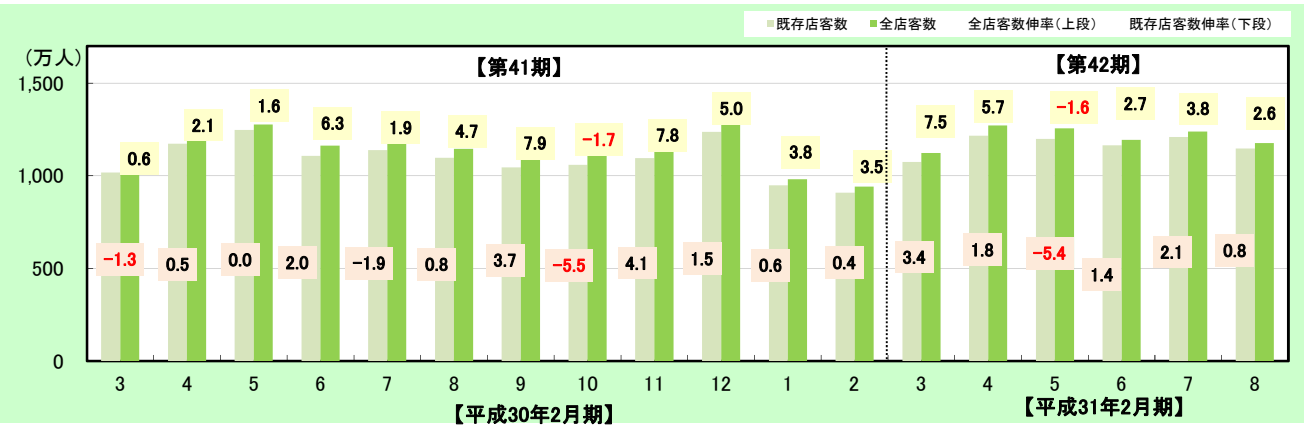
全店・既存店 売上高 月別推移

* 数値は対前年同月比伸率・%



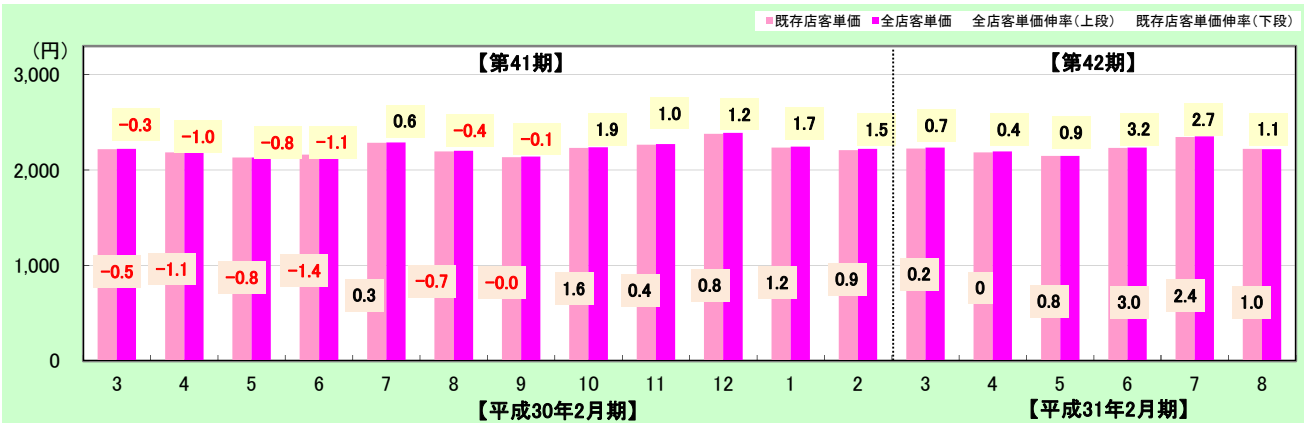
全店・既存店 客数 月別推移

* 数値は対前年同月比伸率・%



全店・既存店 客単価 月別推移

* 数値は対前年同月比伸率・%



月次別 売上高比率 (対年間総売上高)

